

*下記のプログラムは7月18日現在の暫定版であり、確定版ではないことをご了承ください。

(大会実行委員会)

一般財団法人 日本国際政治学会 2019年度研究大会 分科会プログラム

◆10月18日(金)

分科会セッションA(15:45~17:15)

- A-1 日本外交史** 責任者 片山慶隆(関西外国語大学)
- テーマ 自由論題
- 司会 片山慶隆(関西外国語大学)
- 報告 鈴木 悠(東京大学)
「日清戦争前の日英関係、1876-1894年」
金 東明(東京大学)
「日米韓安全保障協力の再開——三木武夫政権期における『韓国条項』の再確認」
- 討論 片山慶隆(関西外国語大学)
若月秀和(北海学園大学)
-
- A-2 理論と方法 I** 責任者 多湖 淳(早稲田大学)
- テーマ 関係性に基づく新たな IR を目指して——既存 IR の主体優位性と欧米中心視座を超越する
- 司会 多湖 淳(早稲田大学)
- 報告 清水耕介(龍谷大学)
「三つの関係性と四つの時間性——理論的抽象化による世界観の違い」
酒井啓子(千葉大学)
「『埋め込まれた関係性』概念を導入した紛争と国際政治分析の提案」
Lin, Wan-Ping(国立台湾大学)
「Sinicizing IRT: a Post-Western Approach to Relational Theory of World Politics」
- 討論 Chen, Ching-Chang(龍谷大学)
-
- A-3 国際統合 I** 責任者 武田 健(東海大学)
- テーマ 地域統合と対外政策による人の移動の自由への影響——AU・EUの考察
- 司会 武田 健(東海大学)
- 報告 中坂恵美子(中央大学)
「EUの共通移民政策及び共通庇護政策と正規移動による人の受入れ——アフリカ諸国との関係で」
片柳真理(広島大学)
「アフリカの越境管理政策と地域統合」
- 討論 岡部みどり(上智大学)
今井宏平(アジア経済研究所)

- A-4 政策決定 I** 責任者 本多倫彬 (キャノングローバル戦略研究所)
- テーマ 外交政策決定の意味
- 司会 川島 真 (東京大学)
- 報告 信田智人 (国際大学)
- 「日本の政権交代と安全保障政策過程」
- 猪口 孝 (桜美林大学)
- 「多国間条約参加に見られる主権国家の政策決定」
- 討論 川島 真 (東京大学)
- 宮本 悟 (聖学院大学)

分科会セッション B (17:30~19:30)

- B-1 欧州国際政治史・欧州研究 I** 責任者 齋藤嘉臣 (京都大学)
- テーマ 自由論題
- 司会 君塚直隆 (関東学院大学)
- 報告 矢口啓朗 (東北大学)
- 「1830年代のウィーン体制における勢力均衡の機能」
- 菅原健志 (愛媛大学)
- 「アーサー・バルフォアと日英同盟 1894—1923年——イギリス外交における帝国防衛の観点から」
- 討論 大原俊一郎 (亜細亜大学)
- 松本佐保 (名古屋市立大学)
- B-2 理論と方法 II** 責任者 多湖 淳 (早稲田大学)
- テーマ 理論と方法における先端研究
- 司会 多湖 淳 (早稲田大学)
- 報告 岩波由香里 (大阪市立大学)
- “The Restraining and Deterrence Effects of Alliances”
- 浅野 暁 (早稲田大学)
- 「国連平和維持活動における犠牲者発生と要員撤退」
- 宮下 豊 (早稲田大学)
- 「力・意志・感情——国家威信 (政策) の3類型と現代日本外交への適用可能性」
- 討論 石黒 馨 (神戸大学)
- 政所大輔 (早稲田大学)
- B-3 平和研究 I** 責任者 上野友也 (岐阜大学)

テーマ 自由論題
 司会 上野友也 (岐阜大学)
 報告 久保田雅則 (大阪大学)
 「核不拡散規範の制度化——要因としての逸脱行為に着目して」
 山口治男 (神戸大学)
 「重層的森林ガバナンスにおける各層のギャップと相互作用——インドネシアを事例として」
 討論 佐藤史郎 (東京農業大学)
 横田匡紀 (東京理科大学)

B-4 ジェンダー 責任者 和田賢治 (武蔵野学院大学)
 テーマ 武力紛争後社会の変容とジェンダー
 司会 和田賢治 (武蔵野学院大学)
 報告 竹中千春 (立教大学)
 「ジェンダーをめぐる人道的介入と平和構築の論理——ボスニア紛争の南アジアへのインパクト」
 蔵田明子 (大東文化大学)
 「アフガニスタンの平和構築における女性の焦点化とジェンダー秩序の変容」
 戸田真紀子 (京都女子大学) ・フォーチュネ・バイセンゲ (プロテスタント人文社会科学大学)
 「女性の政治参加と家父長制社会の変容——ルワンダと日本との比較」
 討論 井上浩子 (大東文化大学)
 武内進一 (東京外国語大学)

◆10月19日(土)

分科会セッション C (13:30~15:10)

C-1 アメリカ政治外交 責任者 小野沢 透 (京都大学)
 テーマ U.S.-East Asian Relations in the Jimmy Carter Years: Diplomacy and Global Transformations
 司会 上 英明 (神奈川大学)
 報告 長 史隆 (立教大学)
 “Evolving the Global Partnership: Multiple Significance of U.S.-Japanese Relations, 1977-1980”
 Sheng Peng (University of Oxford)
 “Jimmy Carter and China: Ideology, Security, and Cold War”
 Do Dieu Khue (Seoul National University)
 “Drawing the Bamboo Curtain: U.S. Relations with Asian Communist Countries in

the Carter Era (Focusing on Vietnam, North Korea and China)”

討論

倉科一希（広島市立大学）

上 英明（神奈川大学）

C-2

東南アジア I

責任者 五十嵐誠一（千葉大学）

テーマ

ASEAN の過去と現在——米国と中国の関与

司会

五十嵐誠一（千葉大学）

報告

崔 夏爛（大阪大学）

「ASEAN『中心性』の起源——1979年のASEAN 拡大外相会議（PMC）設立プロセスに見るアメリカの役割」

Liu Hongyi（早稲田大学）

「東南アジアの非伝統的安全保障における中国の関与——自然災害をめぐる協力の見返りから」

討論

永田伸吾（金沢大学）

鈴木早苗（アジア経済研究所）

C-3

中東

責任者 松尾昌樹（宇都宮大学）

テーマ

ポスト IS 期のイスラーム主義と中東政治

司会

横田貴之（明治大学）

報告

溝渕正季（名古屋商科大学）

「対テロ戦争再考——ポスト IS 期におけるイスラーム主義と中東の謀略戦」

高岡 豊（中東調査会）

「イスラーム過激派の盛衰を分析する視角」

末近浩太（立命館大学）

「中東政治研究におけるイスラーム主義——逸脱事例・パラドクス・選択バイアス」

討論

宮地隆廣（東京大学）

C-4

ラテンアメリカ

責任者 舛方周一郎（神田外語大学）

テーマ

ラテンアメリカ・中国関係の新展開

司会

舛方周一郎（神田外語大学）

報告

岸川 毅（上智大学）

「中国の台頭はラテンアメリカに何をもたらすのか——中米諸国の事例から」

子安昭子（上智大学）

「変化する国際環境とブラジル・中国外交関係」

松田康博（東京大学）

「中国の対ラテンアメリカ政策——21世紀の言説と現実」

討論

村上勇介（京都大学）

C-5

安全保障

責任者 小谷哲男（明海大学）

- テーマ 安全保障研究の諸相
 司会 小谷哲男（明海大学）
 報告 小林良樹（明治大学）
 「米国等における『極右テロ』等の動向と我が国へのインプリケーション」
 阪本拓人（東京大学）
 「安全保障の言説分析——国連安保理における四半世紀の討議から」
 濱村 仁（東京大学）
 「核不拡散体制の階層性再考」
- 討論 宮坂直史（防衛大学校）
 秋山信将（一橋大学）
- C-6 国際政治経済** 責任者 小川裕子（東海大学）
- テーマ アジア太平洋の新たな国際政治経済体制
 司会 小川裕子（東海大学）
 報告 杉之原真子（フェリス女学院大学）
 「『新冷戦』下の対内直接投資をめぐる選好の形成——米国の事例を中心に」
 三浦秀之（杏林大学）
 「TPP 参加をめぐる各国の動機と政策意思決定過程」
 服部 崇（京都大学）
 「日本の対アジア通商戦略——東アジア包括的経済連携（RCEP）協定の形成を中心に」
- 討論 古城佳子（東京大学）
 勝間田 弘（東北大学）
- C-7 国際交流 I** 責任者 馬場 孝（静岡文化芸術大学）
- テーマ 自由論題
 司会 牧田東一（桜美林大学）
 報告 堀内めぐみ（元桜美林大学）
 「情動からみる国際政治——創られた文化、創られる文化の観点から」
 謝 辰（東京大学）
 「戦後日本のアジア開発論——民主社会主義者蠟山政道を中心として」
- 討論 牧田東一（桜美林大学）
- C-8 トランスナショナル** 責任者 錦田愛子（慶應義塾大学）
- テーマ 計量分析から見る移民／難民の移動 Quantitative Analysis of Migrants-Refugees
 【英語による実施】（ペーパーは日本語または英語）
- 司会 錦田愛子（慶應義塾大学）
 報告 青山弘之（東京外国語大学）
 「シリア避難民を対象とした世論調査結果から読み解く対外意識」
 “Poll Survey Analysis of the Recognition of International Relations by Syrian IDPs”

Tim Müller (Humboldt-Universität zu Berlin (HU))

“Bridging countries along refugees’ transit routes to Germany: The effects of transit country betweenness on smuggling fees, negative migration experiences and symptoms of depression”

山尾 大 (九州大学)

「送り出し国で難民はいかに表象されたのか——中東主要紙の計量テキスト分析から」

“Representation of Refugee and its Changes: Based on Quantitative Text Analysis of the Middle Eastern Newspapers”

討論

Joshua Rickard (熊本大学)

浜中新吾 (龍谷大学)

C-9

国連研究

責任者 滝澤美佐子 (桜美林大学)

テーマ

国連の紛争関与と「平和」の提供国、受入国

司会

石塚勝美 (共栄大学)

報告

廣野美和 (立命館大学)

「紛争地における中国の役割の拡大——南スーダンコミュニティの視点と変容する国際秩序への意味合い」

久保田徳仁 (防衛大学校)

「国連 PKO の部隊司令官 (Force Commander) と同一出身国兵の犠牲者数」

討論

小林綾子 (上智大学)

山田真弓 (立命館大学)

◆10月20日(日)

分科会セッションD (9:30~11:00)

D-1

欧州国際政治史・欧州研究II

責任者 齋藤嘉臣 (京都大学)

テーマ

自由論題

司会

齋藤嘉臣 (京都大学)

報告

細田晴子 (日本大学)

「スペインの地中海戦略——移民・難民問題を中心に」

和田 萌 (京都大学)

「フランス・メディアにおけるライシテ言説とムスリム表象」

玉井雅隆 (東北公益文科大学)

「欧州安全保障協力会議 (CSCE)プロセスにおける地中海地域問題の変容」

討論

松尾秀哉 (龍谷大学)

浪岡新太郎 (明治学院大学)

八十田博人 (共立女子大学)

- D-2 東アジア国際政治史／東アジア I** 責任者 家永真幸（東京女子大学）／加茂具樹（慶應義塾大学）
- テーマ 自由論題
- 司会 加茂具樹（慶應義塾大学）
- 報告 阿曾沼春菜（愛媛県立松山東高等学校）
「伝統的東アジア秩序とイギリス——19世紀末の対シヤム外交を中心に」
高柳峻秀（東京大学）
「南京国民政府初期における上海日本研究社と陳彬龢」
朴 敬珉（パク・キョンミン）（韓国・国民大学）
「日韓・日中歴史認識問題の比較研究——リベラルな外交を求めて」
土屋貴裕（京都先端科学大学）
「新興先端技術をめぐる中国の経済産業政策と国際競争」
- 討論 朴 正鎮（津田塾大学）
吉井文美（国立歴史民俗博物館）
-
- D-3 ロシア・東欧** 責任者 溝口修平（法政大学）
- テーマ 1950年代のソ連・東欧と中国
- 司会 小林昭菜（多摩大学）
- 報告 杜 世鑫（日本伝統ビューロー国際交流研究所）
「1956年ハンガリー事件と中国共産党——ハンガリー事件における中国共産党の関与と役割」
松村史紀（宇都宮大学）
「中ソ分業体制の蹉跌（1950年代）——中国の核開発を中心に」
- 討論 麻田雅文（岩手大学）
福田 円（法政大学）
-
- D-4 東南アジア II** 責任者 五十嵐誠一（千葉大学）
- テーマ 強権政治と分離主義
- 司会 五十嵐誠一（千葉大学）
- 報告 阿部和美（早稲田大学）
「ポスト権威主義体制インドネシアにおけるパプア分離独立運動の行方」
谷口美代子（国際協力機構）
「ミンダナオ和平プロセスにみるリベラリズムのパラドックス——アキノIII政権とドゥテルテ政権下におけるバンサモロ基本法制定過程の比較分析」
- 討論 増原綾子（亜細亜大学）
山根健至（福岡女子大学）
-
- D-5 政策決定 II** 責任者 本多倫彬（キャノングローバル戦略研究所）

テーマ 日米両国における現代的政策過程の検討
 司会 本多 倫彬 (キヤノングローバル戦略研究所)
 報告 松本明日香 (同志社大学)
 「米通商戦争のメカニズム——政権、選挙、国際理論の検証」
 馬場一輝 (立命館大学)
 「日米・朝交渉モデルの検討——2002年・2004年日朝首脳会談を事例に」
 福森憲一郎 (日本大学)
 「米国のICT政策における『重大局面』」
 討論 山本達也 (清泉女子大学)
 山口 航 (帝京大学)

D-6 環境 責任者 沖村理史 (広島市立大学)
 テーマ 国際規範と国際環境制度の諸相
 司会 渡邊 明 (福岡工業大学)
 報告 高橋若菜 (宇都宮大学)
 「循環型社会をめぐる国際規範の国内受容の多様性に関する要因考察——家庭ごみにか
 かわる経済的手法を事例として」
 沖村理史 (広島市立大学)
 「国連気候変動枠組条約体制の実効性——京都議定書とパリ協定」
 討論 調整中

分科会セッション D・E (9:30~12:45)

D・E アフリカ 責任者 杉木明子 (慶應義塾大学)
 テーマ アフリカにおける「国家」と「国家建設」をめぐる諸相
 司会 杉木明子 (慶應義塾大学)
 報告 荒木圭子 (東海大学)
 「アフリカン・ディアスポラと自決権」
 細井友裕 (東京大学)
 「何が国家を強くするのか?——現代アフリカにおける国家形成の比較事例分析」
 堀江正伸 (武庫川女子大学)
 「人道支援の可能性——ダルフル紛争下の国内避難民キャンプでの考察」
 討論 落合雄彦 (龍谷大学)
 佐藤滋之 (早稲田大学)

分科会セッション E (11:15~12:45)

- E-1 東アジア II** 責任者 加茂具樹 (慶應義塾大学)
- テーマ 冷戦終結後のアジア秩序構想の国際比較
- 司会 佐橋 亮 (東京大学)
- 報告 加藤美保子 (北海道大学)
- 「ロシアはアジア地域秩序への挑戦者か?——日米同盟観の変化に着目して」
- 溜 和敏 (高知県立大学)
- 「インドの国際秩序観における『拡大近隣』——中国との関係を中心に」
- 玉置敦彦 (中央大学)
- 「冷戦後アメリカの秩序構想——90年代における日米関係の展開とその影響」
- 討論 菊池 努 (青山学院大学)
- 青山瑠妙 (早稲田大学)
-
- E-2 国際統合 II** 責任者 武田 健 (東海大学)
- テーマ EUの新しい政策アプローチ
- 司会 臼井陽一郎 (新潟国際情報大学)
- 報告 小山晶子 (東海大学)
- 「EUにおける移民の社会統合政策と庇護・移住基金 (AMF) への新たな展開」
- 福海さやか (立命館大学)
- 「コロンビアにおける EU 麻薬規制政策の展開」
- 討論 臼井陽一郎 (新潟国際情報大学)
-
- E-3 国際交流 II** 責任者 馬場 孝 (静岡文化芸術大学)
- テーマ 自由論題
- 司会 馬場 孝 (静岡文化芸術大学)
- 報告 川村陶子 (成蹊大学)
- 「『文化外交』を超えて——日本とドイツにおける国際文化関係運営」
- 加藤恵美 (帝京大学)
- 「多文化が共生する地域社会は誰の社会か——川崎市ふれあい館の事例研究」
- 討論 小川 忠 (跡見学園女子大学)
-
- E-4 平和研究 II** 責任者 上野友也 (岐阜大学)
- テーマ 保護する責任 (R2P) 概念の再考——R2P は終わったのか?
- 司会 中内政貴 (大阪大学)
- 報告 西海洋志 (聖学院大学)
- 「保護する責任 (R2P) の『第 2.5 の柱』?——R2P 概念の系譜とリビア後の展開」
- 中村長史 (東京大学)
- 「超大国に息づく保護する責任——米国の APB 関連文書に着目して」
- 討論 庄司真理子 (敬愛大学)
- 澤田眞治 (防衛大学校)

E-5	若手研究者・院生研究会	責任者	石井雅浩（一橋大学）
テーマ	自由論題		
司会	大山貴稔（九州工業大学）		
報告	山口優人（筑波大学） 「批判的テロリズム研究の現状と展望」		
	金 鍾必（青山学院大学） 「国家が核兵器開発を再考する理由」		
討論	小林 誠（お茶の水女子大学） 秋山信将（一橋大学）		